

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	基盤ソフトウェア論2		
英文授業科目名	Foundations of Software Systems 2		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム基盤学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報システム基盤学専攻		
担当教官名	小宮 常康		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
komiya@spa.is.uec.ac.jp	

【講義の狙い，目標】
<p>プログラムやデータを段階的に抽象化して構成することで見通しのよいプログラムを構成する方法，及び何種類かの計算メカニズムやプログラミング言語のメカニズムについて学ぶ．そして，データやプログラムに込められている本質的な意味を明確に捉えることができれば，それらの実装には自由度があることを理解する．</p>

【内容】
<ol style="list-style-type: none"> 1. 手続き（関数）による抽象の構築 2. データによる抽象の構築 3. 標準部品化力，オブジェクトおよび状態 4. 超言語的抽象 5. レジスタ計算機での計算

【教科書，参考書】
<p>H. Abelson and G.J. Sussman: Structure and Interpretation of Computer Programs Second Edition, MIT Press 和田英一訳:計算機プログラムの構造と解釈 第二版, ピアソン</p>

【予備知識】
<p>プログラミングの経験があれば問題ないが，プログラムをたくさん示すのでプログラムを読む力が必要である．また，プログラミング言語の仕組やコンパイラやインタプリタについてある程度の知識があることが望ましい．</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【演習】

講義中に演習は行わないが、プログラムを作成するレポート課題を出す。

【成績評価方法及び評価基準】

レポート（30%）と期末試験（70%）の合計で評価する予定。

【その他】